

「あけましておめでとう！」

とはいっても「2017年」のことではありません。
実はキリスト教の暦の一年はひと足早くクリスマスに「あけた」のです。
イエスさま誕生の新たな希望と喜びに包まれて一年を始めよう。
だから、「あけましておめでとう！」。

そうそう、クリスマスといえば、2016年つくしのページェント
私は初観賞でしたが、とってもすばらしかった。
台詞が自分の言葉になっていた。心から楽しんで演じていた。
合唱もしっかり劇を支える歌声でした。
クリスマスはつくしの子にとってとても大切な日なのだなあ
そう実感することができました。

お祝い会后、降園するみんなを正門で見送っていると
年長さんの一人が先程いただいたプレゼントを手近づいてきました。
「ねえ、つださん、このプレゼント、サンタさんはどこに置いていて
くれたの？」
「たしか、あそこの階段の上の方においてあったと思うよ」
そう言うと、その子は再び門に入って階段をかけたのぼり
踊り場でしばらく、上から下をのぞいたり、左右を確認したり…。
「もういないか。こんど会えたらいいな」。
そういって手をふり、帰っていきました。

次のような文章を読んだことがあります。
「心の中に、ひとたびサンタクロースを住ませた子は、心の中にサンタクロ
ースを収容する空間を作り上げている。サンタクロースその人は、いつかその子
の心の外へ出ていってしまうだろう。だが、サンタクロースが占めていた空間は、
その子の中に残る。この空間、この収容能力、つまり目に見えないものを信じる
という心の動きが、人間の精神生活のあらゆる面で、どんなに大事かは言うま
でもない。のちに、一番崇高なものを宿すかもしれぬ心の場所が、実は幼い日に
サンタクロースを住ませる事によって作られるのだ。」(『サンタクロースの部
屋』松岡享子著)

劇を終え、プレゼントを手、満足そうに家路につく子供たちを見送りながら
「なんてまっすぐ心が育っているんだろう」と、静かに感動を覚えていた
2016年クリスマス、でした。(つくし保育園園長 つだ かずお)

<だいが教会より> 12月25日(日)にあった教会クリスマスにも
たくさんご参加くださり感謝でした。なつかしいキャロルを歌い、聖書からイエ
スさまのお話を聞き、おいしいお食事をいただきました。

教会では子どもとともにある楽しい礼拝や集まりをこれからも続けます。
どうぞお気軽にご家族でお越しくださいね！

インフルエンザや冬季下痢症などの感染症が流行しています。入室前の手洗い(こどもと保護者の方、兄弟、入室されるすべての方)を引き続きよろしくお願い致します。また、熱はなくても、下痢や咳が続く場合、子どもたちは体力を消耗します。二次感染を防ぐためにもご家庭でゆっくり療養してください。